

多摩川かぜのみち 競技用自転車のスピードを抑制する対策を

スピード抑制に効果のある 舗装形態等を工夫していく

田中 慎一議員(公明) 多摩川かぜのみちでは、競技用自転車...



▲多摩川かぜのみち 路面表示は、早急に補修を行っていく。

そこで、歩行者の安全が守られるように、自転車運転者への注意を喚起する看板の設置、スピードを抑制するため...

次期基幹システム構築事業 優先的に実施すべきでは 財政状況を勘案しながら 適切に実施時期を判断したい

重田 益美議員(ネット) 平成17年度から進められてきた次期基幹システム構築事業が、21年度、経済状況の悪化を理由として休止され、再開の時期も示されていない。

そこで、改めて同事業の必要性について聞きたい。市長 本市の電子計算機システムは、導入から30年以上が経過している。期間の経過とともにプログラムなどが複雑化し、大規模なシステム改修や法改正への対応が難しくな

ラジオのコミュニティ放送 実施する考えは

早急な対応は考えていないが 研究していきたい

吉村 文明議員(公明) 現在、ラジオ放送には、エリアが地域に限定されたコミュニティ放送が全国で200以上ある。

そこで、市民生活におけるラジオ放送について、都内のコミュニティ放送の状況や市の考えを聞きたい。

ごみ収集方法の変更 市民の納得が得られたのか 客観的に把握する考えは

意見交換の実施等を総合し 納得が得られたと確信している

市民の気持ちが見受けられる。議員 なぜ副市長が答ええないのか。客観的に把握する考えがあるか、もう一度聞きたい。

杉村 康之議員(市友会) 平成21年第2回定例会にて、ごみ収集方法の変更については、市民の納得が得られたのかを聞いた。

そこで、客観的に把握する考えがあるか改めて聞きたい。ごみ改革推進本部長 21年8月より開催している説明会の感触としては、市の方針に積極的に参画していこうという



▲新しいごみの出し方説明

市の様々な計画に 市民が継続的にかかわれる 仕組みづくりへの考えは

情報提供等に努め 市民参加を推進している

浅田 多津子議員(ネット) 府中市都市計画マスタープランに基づき、「地域別まちづくり方針」の策定に向けて立ち上げられた市民検討会は、同方針の市民案の提言をまとめ、市に提出をした。



▲地域別まちづくり方針市民検討会

中には市民の提言に無いことが盛り込まれている。それがなぜか。都市整備部長 市民案をできる限り尊重することを基本としているが、行政の各部門別の基本計画との整合を図るために整理したためである。

市外に就業する市民のため 鉄道の運行改善等の取組を 鉄道事業者に対し

西宮 幸一議員(市友会) 本市は、副都心新宿から近いという地の利もあり、市外に就業する市民も少なくない。

そこで、市外就業市民の人数と割合、市政へのニーズ等を知りたい。政策総務部長 平成17年国勢調査では、本市の市外就業者は全体の約55%で、6万5001人である。市政へのニーズについては、20年度市政世論調査を参考とすると高齢者福祉・防犯風紀対策等の分

野へのニーズが高いと考える。議員 市外就業市民の方からは、鉄道の利便性の向上を求め、要望を聞くが、鉄道事業者に対し、市から運行遅延等をなくす取組についての要望ができないか。都市整備部長 鉄道事業者に対しては、本年も各駅の課題や安全対策等の要望を行って

待機児童数が増加傾向にあるが 本市の今後の取組は

保育計画を策定し 保育所の定員増を図る

を初め、評価などについて情報提供等に努め、市民参加を推進している。今後、市民との協働によるまちづくりを進めていきたい。

隆 ミワ子議員(公明) 経済状況など様々な理由で、保育所等の待機児童は依然として増加傾向にあり、待機児童の約9割が3歳未満児である。待機児童解消に向けた、本市の今後の取組を聞きたい。

市長 現在策定中の府中市次世代育成支援行動計画の後期計画で、平成26年度までの保育計画を策定し、これに基づき、課題となっている3歳未満児を含めた、保育所の定員増を図っていく。議員 安心子ども基金の活用について、本市の今後の計画等を聞きたい。子ども家庭部長 保育所の施設整備や定員増の目標値を設定するとともに、同基金に基づいた補助制度の有効活用として、認定こども園を設置し、施設整備費等の補助を行う。また、保育ママ制度にも着手し、家庭的保育を実施する。また、家庭の保育を実施する。また、家庭の保育を実施する。また、家庭の保育を実施する。